

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：文学部

学年：学部 4 年

留学先大学：York St John University

現在の学期：Fall Semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	11:00~12:30 Tudor Women: Agency and Authority-Lecture 13:00~14:00 Elections and Voters in British Politics-Lecture
火	14:30~16:30 Elections and Voters in British Politics-Seminar
水	9:00~10:00 Researching Media Industries-Lecture 11:00~13:00 Researching Media Industries-Seminar
木	16:30~18:00 Tudor Women: Agency and Authority-Seminar
金	なし
土・日	なし

履修科目や近況について

● 履修登録・授業について

履修登録は渡航 1 ヶ月前ほどに第 1 希望 3 科目 + 第 2 希望 3 科目を提出した中から割り振られ、渡航直後の welcome week の間に確認しました。授業 2 週目までは変更申請を提出することができ、私は初めに割り振られた科目のタスクがキャパシティオーバーになりそうだったので変更しました。ただ、定員や時間割のブッキングによって申請が通らない場合があるので早めの行動をお勧めします。授業には 1 年生向けの L4 から、上級生向けの L5・L6 まであり、他の留学生もかなり L5 や L6 から変更している様子が見られます。千葉大で履修していた分野とは違う分野の科目を履修するなら L4 か L5 を選択した方が良いかと思います。

Researching Media Industries はメディア専攻の L4 の授業で、グループワークが多め。seminar では、制限時間 1 時間の中で 5 分間のプレゼンを作成し発表というクイックな内容でした。比較的軽めで、授業前のリーディングタスクは今のところ多くなく、本来は media 内の Film に関連する授業に興味があったのですが、留学生が履修できるモジュール一覧になく、最終課題のテーマ選択の項目に Film が含まれていたので選択しました。

Tudor Women は歴史学専攻の上級生向けの L5 の授業で、授業前のリーディングタス

クが比較的多め。毎週テーマが決められていて、それに沿った女性 3 人についてのディスカッションをグループ毎に行います。コアリーディングタスク→割り振られた女性についてのリーディング→教授が事前に提示した質問についての答えを用意して臨んでいますが、周囲の勢いのある発言に自分の意見をねじ込めずにいます。教授のアクセントが独特なので、初めて耳にする長い単語等は一回では聞き取れず、Moodle にアップされる録音を聞くことになるので予習と復習に長時間を要しています。また、他の留学生仲間も苦労しているのが、ヨーロッパとは切っても切れない関係のキリスト教の単語で、馴染みがない内容な上に複雑な単語が多いため皆発言には苦戦しているようです。

Elections and Voters は政治学専攻の上級生向けの L5 の授業で、イギリスの選挙制度について学んでいます。日本と似ている部分もあれば、連合国独自の制度もあって興味深いです。授業前に公開される質問については答えを用意していくようにしているが、授業内で突如出される質問については、質問の意味自体が難しくてなかなか的確な回答を考えつくことができていません。

全てテキストの指定はなく、Ebook のリンクを教授がリストにして公開してくれるため、フィジカルで購入する必要がなくその点は助かっています。毎授業平均 30 ページ以上のリーディングが課されるため読む量は相当増えました。

帰国後に卒論に使用できそうな文献等も今後探してダウンロードだけでも済ませて帰国したいと考えています。

また、ほとんどの授業は 12 月いっぱいまで終わり、1 月に入れば最終課題が残っているだけになったり、ワークショップがイレギュラーに組まれたりするだけになっています。大学のサイトのアカデミックカレンダー上では 1 月末までは秋セメスターと記載があったり 1 セメスターの留学生の退寮日が 1 月末日だったりするので年明けは課題と通常授業のダブルコンボかと思っていました。ですが、こちらにきてからウィークリーモジュールを 1 週ずつ確認すると 1 月は空欄の日がほとんどで、課題が終わり次第帰国したり旅行に出たりする予定の人が多そうです。

● 生活環境

外食は評判通りどこも高めで、カフェは 1 回 2000 円ほど、食事 1 回は 3000 円超という印象。寮から 20 分ほどの範囲に各種スーパー・ホームセンターは揃っているので日用品の買い出しには特に困りません。野菜・果物・チーズ等は安いので自炊の方が圧倒的に節約できる。授業ごとに課されるリーディングタスクに追われる日々の中で自炊はいい気分転換になっていると思います。フラットメイトと顔を合わせたり会話したりするのもキッチンなので、キッチンで誰とも顔を合わせない日は英語を話すこと自体が少なく落ち込むことも多々あります。各 5 人のフラットが 20 以上あるにもかかわらず洗濯機・乾燥機は各 2 台しかないが、使用状況を確認できるサイトがあるのでそれを利用して早朝に使用しています。

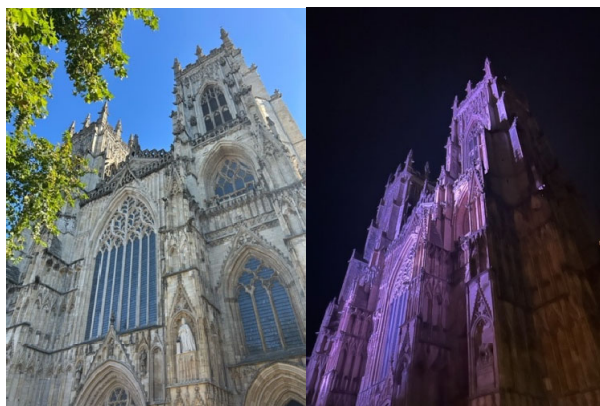
夜は冷えるが、部屋のヒセントラルヒーターがあまり機能しないので、湯たんぽやブランケットを購入している人が多いようです。付近に 2 つほど大きなホームセンター(home bargains・B&M)があるため調達できました。



● 娯楽

ヨークはかなり落ち着いていてこじんまりした印象を受けます。ヨークミンスターやシャンプルズ通りを擁する中心部は週末には大賑わいだが、平日はかなり快適に利用できます。ヨークセントジョン大学の学生は学生証があれば無料で内部を閲覧できるので気軽に訪れることができます。一番の目玉である Rose Window はちょうど修理中でしたが、来季以降の方は問題なく見られるかと思います。おしゃれなカフェ、映画館、ショッピングができるような一通りのチェーン店はあるので生活用品に困ることはないのですが、毎週新しいことが起こるようなエキサイティングな街ではありません。首相交代に伴うさらなる円安も相まって(最高値で 200 円だったのが、ここ 1 週間は 200 円を切る日を見られない)、娯楽にもかなりお金がかかるので、娯楽の少ない街は逆に助かっています。

週末を利用してバスで海沿いの街へ行ったり、1 泊 2 日でロンドンへ遊びに行ったりする人も多いです。York Railway Station から各地へ列車が出ています。複数回旅行に行く予定がある場合、Student beans でクーポンコードを発行し、Train pal のアプリから安く列車のチケットを取ることができるようです。11 月中旬には 1 週間休暇がある(千葉大学で言うところの「ターム間休み」)が、この付近に課題の締め切りが設定されている授業もあるので、どこまで旅行を入れられるものか頭を悩ませています。夜に飲みに行くフラットメイトも多いですが、街灯が少なく、女子 1 人で歩いている人はあまり見られません。ただ、雨で濡れた道や荘厳なミンスターはとても美しく、見逃せないもので、暗くなってからは複数人での行動を心がけて出かけています。



● 友人作り

渡航前の私は、授業が始まれば勝手に現地の学生と知り合えるものと考えていました。

た。今考えるととても楽観的だったと思います。フラットは留学生がほとんどで、かなり日本人や韓国人の割合が高く(基本的に1フラットにつき2人ほどはアジア圏の印象)、留学生同士で仲良くなることの方が多いです。自分から話かけにいくにしろ、彼らは彼らで固まっていることもあってそこに割って入るのは英語力的にも精神的にもかなり気が引けてしまいます。Seminar 内のディスカッションで無視される、といった悲しい目にはあっていないし、意見を言おうとするとこちらのワードを注意深く聞き取ってくれようとする人も多いですが、よくも悪くも日本人に似ているように感じています。

- Society

日本でいうサークルのようなもので、意外にも文化系の society も多いです。私も何か新しいことを始めてみようと思い、留学生仲間と一緒に Knitting Society に加入しました。こちらに来てからぐるぐる思考を巡らして気持ちが落ち込むことが多かったのですが、編み物に集中している間は他のことを頭から追い出せるので気に入っています。運動系ももちろん充実しているので、日本で部活動に入っていた人はこちらで参加することもできそうです。